

公立社会体育施設の耐震化対策【文部科学省】

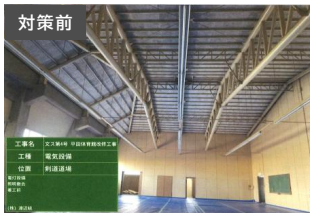
施策概要 地震により倒壊等の被害の生じる可能性がある公立社会体育施設の耐震化を実施

効果 災害時における体育施設の倒壊等の防止による利用者等の人命を保護

全国的な対策と効果

対策1 公立社会体育施設の構造体の耐震化を実施(10,468棟の耐震化が完了)

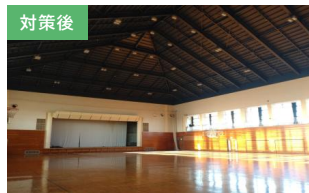
岐阜県海津市
平田体育館



躯体にブレースを設置し耐震性能の向上を図った

対策2 公立社会体育施設の非構造部材の耐震化を実施(1,057棟の耐震化が完了)

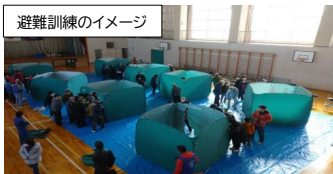
茨城県神栖市
波崎体育館



特定天井(天井仕上げ材及び下地材)の撤去、落下防止の天井設置機器(照明器具・火災報知器など)の更新工事、天井仕上げ撤去に伴う内装改修工事を実施

5か年加速化対策の効果

施設の耐震性が確保されたことにより、災害時に避難所として利用され、地域住民の安全安心を確保

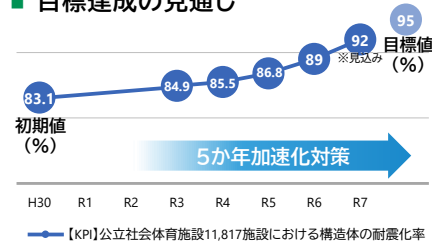


■ 予算額(国費)(加速化・深化分)

R3	R4	R5
1,218億円	448億円	444億円
R6	R7	累計
424億円	1,066億円	3,600億円

※ このほか、加速化・深化分以外の予算も措置されている

■ 目標達成の見通し



整備事例

公立社会体育施設を耐震化し、利用者の安全を確保する



茨城県城里町



茨城県東茨城郡城里町



花山体育館耐震化事業

■ 屋根面の水平ブレース改修・軸組鉛直ブレースの増設



鉄骨架構の耐力不足等により、地震の振動及び衝撃に対して耐震基準を大幅に満たしていなかった。屋根面水平ブレースを補強し水平伝達能力を確保し、鉛直ブレース補強を行うことで耐力の増加と靱性の改善を図った。



水平ブレース取付



対策後



壁内Xブレース取付



対策後外観

■ 事業費

0.5億円(うち5か年加速化対策(加速化・深化分) 0.1億円)

■ 事業の背景(地域の課題)

城里町では、近い将来、南海トラフ巨大地震や、首都直下地震が最大規模の被害をもたらすと想定されているなか、指定避難所となっている花山体育館の耐震性能が基準を下回っていました。花山体育館は、平時には隣接する七会小学校の屋内運動やスポーツ、学校行事などで利用されるほか、町民の健康増進や体力向上のためのスポーツ施設としても活用されています。災害時は、指定避難所として利用される施設であり、利用者の安全確保が不可欠であり、耐震対策が求められていました。

■ 事業の内容

花山体育館において、耐震診断により構造耐震判定指数(Isof値)を下回っていたことが判明しました。指定避難所として利用される施設であり、又利用者の安全確保のため、耐震性能の向上が不可欠であることから、屋根面水平ブレース補強(計36か所)による水平伝達能力の確保と、鉛直ブレース補強(計24か所)による耐力の増加、並びに靱性の改善を図る耐震補強工事を実施しました。

■ 見込まれる効果

体育館の耐震補強工事を実施することにより、災害時における施設被害を防止し、利用者の安全を確保することができます。これにより、花山体育館の避難施設や物資の輸送拠点としての、機能強化を図ることができます。



避難訓練のイメージ

(1) 1 人命・財産の被害最小化 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策

(2) 交通・ライフラインの維持 インフラの老朽化対策

(1) 3 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進 施策のデジタル化

(2) 災害関連情報の高度化